



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 青山商事株式会社

上場取引所 東

コード番号 8219 URL <http://www.aoyama-syouji.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青山 理

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員企画管理本部長 (氏名) 財津 伸二

TEL 084-920-0050

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	173,876	1.2	8,944	9.9	9,581	7.1	5,065	2.8
29年3月期第3四半期	171,823	7.5	8,138	11.0	8,943	8.0	5,214	0.8

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 8,043百万円 (57.7%) 29年3月期第3四半期 5,099百万円 (22.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	99.03	99.03
29年3月期第3四半期	98.88	98.85

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	378,631	227,225	59.2
29年3月期	391,369	233,666	59.0

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 224,186百万円 29年3月期 230,873百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		50.00		115.00	165.00
30年3月期		50.00			
30年3月期(予想)				120.00	170.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	258,700	2.3	21,000	3.9	21,800	3.4	10,700	7.5	211.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.9「四半期連結財務諸表及び主な注記 (3)四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	55,394,016 株	29年3月期	55,394,016 株
30年3月期3Q	4,915,104 株	29年3月期	3,437,602 株
30年3月期3Q	51,153,853 株	29年3月期3Q	52,732,891 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

(注)期末自己株式数には、従業員インセンティブ・プラン「株式給付信託(J-ESOP)」制度に係る信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が保有する当社株式(30年3月期3Q 184,600株、29年3月期 185,900株)が含まれております。また、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(30年3月期3Q 185,388株、29年3月期3Q 185,900株)。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 個別業績予想

平成30年3月期の個別業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	190,300	0.3	18,750	0.2	19,920	0.6	10,950	26.4	216.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

《セグメント別業績》

(単位：百万円)

	売 上 高				セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))			
	当第3四半期	前第3四半期	増減額	前年同期比(%)	当第3四半期	前第3四半期	増減額	前年同期比(%)
ビジネスウェア事業	123,426	123,519	△93	99.9	7,418	6,958	460	106.6
カジュアル事業	12,093	12,931	△837	93.5	△254	△489	235	—
カード事業	3,630	3,352	277	108.3	1,472	1,059	412	138.9
印刷・メディア事業	8,600	8,564	35	100.4	160	190	△29	84.7
雑貨販売事業	12,048	11,872	175	101.5	574	543	31	105.8
総合リペアサービス事業	9,457	8,858	598	106.8	△305	179	△485	—
その他	7,340	5,363	1,977	136.9	66	△17	83	—
調整額	△2,721	△2,641	△80	—	△188	△285	97	—
合計	173,876	171,823	2,052	101.2	8,944	8,138	806	109.9

(注) 1. セグメント別売上高、セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△)) はセグメント間取引相殺消去前の数値であります。

2. 第1四半期連結会計期間より「青山洋服商業(上海)有限公司」及び服良(株)の子会社である「上海服良工贸有限公司」を、ビジネスウェア事業に含めております。

当第3四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年12月31日まで)におけるわが国経済は、企業業績や雇用情勢に改善が見られ、景気は緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、欧米や新興国等の海外経済への懸念や地政学リスクの高まりなどから、依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような状況下、当社グループでは、ビジネスウェア事業の収益力、競争力の強化を目指した諸施策を実施するとともに、グループ経営の基盤整備と収益力強化を図ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループにおける業績は以下のとおりとなりました。

売上高 1,738億76百万円(前年同期比 101.2%)

営業利益 89億44百万円(前年同期比 109.9%)

経常利益 95億81百万円(前年同期比 107.1%)

親会社株主に帰属する四半期純利益 50億65百万円(前年同期比 97.2%)

セグメント別の営業の状況は、以下のとおりであります。

なお、以下のセグメント別売上高、セグメント利益又は損失は、セグメント間の内部取引相殺前の数値であります。

《ビジネスウェア事業》

〔青山商事(株)ビジネスウェア事業、ブルーリバーズ(株)、(株)エム・ディー・エス、(株)栄商、服良(株)、青山洋服商業(上海)有限公司〕

当事業の売上高は1,234億26百万円(前年同期比99.9%)、セグメント利益(営業利益)は74億18百万円(前年同期比106.6%)となりました。

当事業の中核部門であります青山商事(株)のビジネスウェア事業につきましては、「洋服の青山」を13店舗(内移転4店舗)、「ザ・スーツカンパニー」を8店舗(内5店舗は「ネクストブルー」からの業態変更)、レディース専門店「ホワイト ザ・スーツカンパニー」を2店舗出店するなど着実な出店を実施するとともに、営業面では、「洋服の青山」において、新CMにカナダ人パフォーマーのTROY JAMES氏を起用し、驚異的な動きでスーツの伸縮性をアピールするなど、機能性を強調したテレビCMや、LINE公式アカウント及び公式インスタグラムの開設、YouTube等へのWEB販促を実施することなどで、新たな顧客の取り込みを図りました。商品面ではブリヂストンのタイヤ技術を応用した『走れる革靴』や、産学協同開発インソールを採用し正しい歩行に導く『軽快歩行シューズ』など高機能商品の品揃えを強化いたしました。

レディースにつきましては、ミセス向けフォーマルのバリエーションを追加するなど、オケーションや年齢ごとにバリエーション、サイズ等の品揃えを強化した結果、好調に推移いたしました。

なお、4月から12月までの9ヶ月間のメンズスーツの販売着数は前年同期比97.0%の1,342千着、平均販売単価は前年同期比99.2%の27,781円となりました。

こうしたことなどから、ビジネスウェア事業の既存店売上高は前年同期比97.3%となりました。

当第3四半期まで(4月～12月)の店舗の出退店等につきましては、以下のとおりであります。

＜ビジネスウェア事業における業態別の出退店及び期末店舗数(平成29年12月末現在)＞

(単位：店)

業態名	洋服の青山	ネクストブルー	ザ・スーツカンパニー	ユニバーサルランゲージ	ブルーエグリージオ	ユニバーサルランゲージメジャーズ	ホワイトザ・スーツカンパニー	合計
出店〔内 移転〕 (4月～12月)	13〔4〕	0	8	0	0	0	2	23〔4〕
閉店(4月～12月)	2	5	0	0	1	0	0	8
期末店舗数(12月末)	812	3	57	14	0	4	10	900

(注) 1. 「ザ・スーツカンパニー」には「TSC SPA OUTLET」を、「ユニバーサルランゲージ」には「UL OUTLET」を含めております。

2. 「ザ・スーツカンパニー」の出店8店舗の内5店舗は「ネクストブルー」からの業態変更であります。

《カジュアル事業》〔青山商事(株)カジュアル事業、(株)イーグルリテイリング〕

当事業につきましては、カジュアル市場の低迷等により、売上高は120億93百万円(前年同期比93.5%)、セグメント損失(営業損失)は2億54百万円(前年同期はセグメント損失(営業損失)4億89百万円)となりました。

当第3四半期まで(4月～12月)の店舗の出退店等につきましては、以下のとおりであります。

＜カジュアル事業における業態別の出退店及び期末店舗数(平成29年12月末現在)＞

(単位：店)

業態名	青山商事(株)カジュアル事業		(株)イーグルリテイリング
	キャラジャ	リーバイスストア	アメリカンイーグルアウトフィッターズ
出店(4月～12月)	0	0	0
閉店(4月～12月)	1	0	0
期末店舗数(12月末)	8	9	34

(注) 「アメリカンイーグルアウトフィッターズ」にはアウトレット店を含めております。

《カード事業》〔(株)青山キャピタル〕

当事業につきましては、ショッピング収入の増加などから、売上高は36億30百万円(前年同期比108.3%)、セグメント利益(営業利益)は14億72百万円(前年同期比138.9%)となりました。

なお、平成29年11月末現在の「AOYAMAカード」の有効会員数は410万人となりました。

《印刷・メディア事業》〔(株)アスコン〕

当事業につきましては、売上高は86億円(前年同期比100.4%)、セグメント利益(営業利益)は1億60百万円(前年同期比84.7%)となりました。

《雑貨販売事業》〔(株)青五〕

当事業につきましては、高額商品(150円～500円)の取扱い増加などにより、売上高は120億48百万円(前年同期比101.5%)、セグメント利益(営業利益)は5億74百万円(前年同期比105.8%)となりました。

なお、平成29年11月末の店舗数は117店舗であります。

《総合リペアサービス事業》〔ミニット・アジア・パシフィック(株)〕

当事業につきましては、出店等により売上高は94億57百万円（前年同期比106.8%）となる一方、事業拡大（サービス多角化、出店加速）を図るための先行投資の増加などから、セグメント損失（営業損失）は3億5百万円（前年同期はセグメント利益（営業利益）1億79百万円）となりました。

当第3四半期まで（4月～12月）の店舗の出退店等につきましては、以下のとおりであります。

＜総合リペアサービス事業における出退店及び期末店舗数（平成29年12月末現在）＞

（単位：店）

地域	ミスターミニット			合計
	日本	オセアニア	その他	
出店（4月～12月）	20	11	4	35
閉店（4月～12月）	7	2	1	10
期末店舗数（12月末）	312	276	35	623

《その他》〔青山商事(株)リユース事業、(株)glob、(株)WTW〕

その他の事業につきましては、「セカンドストリート」を1店舗、「焼肉きんぐ」を4店舗、「ゆず庵」を2店舗、「ダブルティー」を1店舗出店したことなどから、売上高は73億40百万円（前年同期比136.9%）、セグメント利益（営業利益）は66百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）17百万円）となりました。

当第3四半期まで（4月～12月）の店舗の出退店等につきましては、以下のとおりであります。

＜その他の事業における業態別の出退店及び期末店舗数（平成29年12月末現在）＞

（単位：店）

業態名	青山商事(株)リユース事業		(株)glob		(株)WTW	
	セカンドストリート	ジャンブルストア	焼肉きんぐ	ゆず庵	ダブルティー	ダブルティーサーフクラブ
出店（4月～12月）	1	0	4	2	1	0
閉店（4月～12月）	0	0	0	0	0	0
期末店舗数（12月末）	11	2	28	11	5	1

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料の発表日現在におきましては、平成29年11月10日に発表した連結業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	50,382	49,731
受取手形及び売掛金	19,233	14,705
有価証券	20,099	12,500
商品及び製品	50,898	53,611
仕掛品	1,095	1,394
原材料及び貯蔵品	1,451	1,603
営業貸付金	53,939	52,120
その他	6,956	5,168
貸倒引当金	△255	△262
流動資産合計	203,801	190,571
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	61,362	61,726
土地	36,948	37,884
その他（純額）	11,529	10,778
有形固定資産合計	109,840	110,388
無形固定資産		
のれん	12,736	12,143
その他	8,428	8,281
無形固定資産合計	21,164	20,425
投資その他の資産		
敷金及び保証金	27,122	27,086
その他	29,359	30,143
貸倒引当金	△28	△74
投資その他の資産合計	56,452	57,154
固定資産合計	187,457	187,969
繰延資産合計	109	89
資産合計	391,369	378,631
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,355	17,836
電子記録債務	17,030	14,788
短期借入金	2,050	3,250
未払法人税等	4,350	346
賞与引当金	1,795	597
その他	14,161	12,165
流動負債合計	58,742	48,985
固定負債		
社債	24,000	24,000
長期借入金	58,500	62,500
退職給付に係る負債	6,070	6,214
ポイント引当金	3,115	2,993
その他	7,274	6,712
固定負債合計	98,960	102,420
負債合計	157,702	151,405

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	62,504	62,504
資本剰余金	62,533	62,533
利益剰余金	134,291	130,824
自己株式	△13,701	△19,664
株主資本合計	245,628	236,197
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,829	3,891
繰延ヘッジ損益	21	9
土地再評価差額金	△16,142	△16,098
為替換算調整勘定	△162	377
退職給付に係る調整累計額	△301	△191
その他の包括利益累計額合計	△14,755	△12,011
新株予約権	8	6
非支配株主持分	2,785	3,031
純資産合計	233,666	227,225
負債純資産合計	391,369	378,631

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	171,823	173,876
売上原価	76,948	77,677
売上総利益	94,874	96,198
販売費及び一般管理費	86,736	87,253
営業利益	8,138	8,944
営業外収益		
受取利息	105	89
受取配当金	181	203
不動産賃貸料	822	837
為替差益	303	100
その他	359	359
営業外収益合計	1,771	1,591
営業外費用		
支払利息	98	96
デリバティブ評価損	134	111
不動産賃貸原価	669	655
その他	63	89
営業外費用合計	966	954
経常利益	8,943	9,581
特別利益		
固定資産売却益	69	0
投資有価証券売却益	41	—
特別利益合計	111	0
特別損失		
固定資産除売却損	355	302
減損損失	201	672
特別損失合計	557	975
税金等調整前四半期純利益	8,497	8,606
法人税等	3,017	3,258
四半期純利益	5,480	5,347
非支配株主に帰属する四半期純利益	266	282
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,214	5,065

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	5,480	5,347
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△49	2,062
繰延ヘッジ損益	144	△11
為替換算調整勘定	△579	537
退職給付に係る調整額	103	107
その他の包括利益合計	△381	2,695
四半期包括利益	5,099	8,043
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,858	7,766
非支配株主に係る四半期包括利益	240	277

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年5月12日及び平成29年8月10日及び平成29年11月10日開催の取締役会決議により、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得を実施し、当第3四半期連結累計期間において自己株式が5,999百万円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における自己株式は19,664百万円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より、青山洋服商業(上海)有限公司及び上海服良工貿有限公司を連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。